

2025年(令和7年)12月



礎 いしずえ

第51号

2025年(令和7年)

12月

発行／～地域力つなぐ～枚二校区コミュニティ協議会

編集／コミュニティ協議会広報部

地域に寄り添い、子どもたちと家庭を支える枚方保育所



— 地域子育て支援「れもんぐみ」の取り組み —



枚方保育園内一般開放のクラス「れもんぐみ」の様子

昭和48年(1968年)に東田宮で開設された枚方保育所は施設の老朽化により、平成30年(2018年)に新しい園舎が完成しました。地域子育て支援の一環として、園舎の横には保育所のクラスとは別の「一般開放」のクラス、子ども・保護者・保育士が一緒に過ごしながらか交流できる場「れもんぐみ」があります。白井所長は「子ども一人ひとりの成長や発達、特性に合わせて、『教育』と『養護』の両面を大切にしたい保育を目指し、特に日々の『遊び』を重視し、子どもたちが思いきり遊ぶ中で、相手思いやり、自分を大切にできる力を育てたい」と語られました。

子どもを中心とした

親同士の交流

ツバサくん(1歳2か月※)一家は、もともと関東に住んでいました。出産後まもなく父の転勤で引越すことになり、調べていく中で子育て環境が良さそうな枚方市を選んだとのこと。知らない土地での初めての子育てに不安もある中、3ヶ月の時にれもんぐみのイベント「あかちゃん会」がきっかけで通い始めました。「離乳食を食べなくなったりときに相談したら、保育士さんがいくつかレシピを教えてくれて本当に助かりました」とお母さん。ちょっとした相談ができる安心感が、子育てを支える大きな力になっています。

れもんぐみでは、子どもたちが年齢や月齢の違いを超え遊びを通じて仲良くなり同時に保護者同士の交流も自然に生まれます。通っている家庭の多くは枚方市外からの転入者で、れもんぐみでの出会いをきっかけに「ママ友」「パパ友」としてつながりができるそうです。子どもたちだけでなく大人にとっても安心して語り合える場になっています。

(※名前は仮称です)



れもんぐみの「一般開放」の利用方法

利用は予約不要。時間内であれば自由に来て、室内でおもちゃや絵本を楽しめます。みんなで体を動かすプログラムもあり。「一般開放」とは別に「園庭開放」も。月に2回は「あかちゃん会」などのイベントや講座も開催。子育ての悩みや情報を共有できる場として多くの家庭に利用されています。詳しい日程や内容は、右記QRより枚方保育所のホームページにて。



枚方保育所 東田宮1丁目2番5号

(開室▶ 月曜日～金曜日 / 時間▶ 午前9:30～14:30)



自分の地区の一時待避所はどこかな?

枚二まつりで 一時待避所の再確認を



11月29日(土)枚二小学校にて枚二PTAと枚二校区コミュニティ協議会による「枚二まつり」が開催されました。天候にも恵まれ青空の下、グラウンドや校舎では子供たちの笑い声に包まれました。にぎやかな、おまつりとなりました。

今回は12のブースが出展し、PTAが管轄する飲食やお楽しみ系、コミュニティが管轄する遊び系、作りたて焼きそば、また、一時待避所を展示した防災系のブースがありました。まつりを通して地域住民との交流や防災への関心を持ってほしいとの願いが込められています。又、2月に児童が中心として開催する「枚二子まつり」の予行練習の意味もあり、今後も続けていきたい大事な地域のイベントの一つです。



しっかり学んで防災食をゲット!

枚二小学校では令和4・5年度の図書貸出冊数が枚方市学校司書配置校の中で児童一人当たりの本の貸し出し冊数が最も多い学校となりました。(令和4年度23695冊、令和5年度24470冊)当協議会が推進している新たな不登校の児童を生まないことを目的とした「学校をより楽しくするプロジェクト」の一つに小学校図書館の充実があります。オーデイオセットの設置、空き教室を利用した児童がより快適に過ごせる環境作り「ほつとルーム」の開設など、居心地の良い空間づくりに注力しました。このような活動の一つ一つが、読書活動への積極的な参加へ促進された結果につながっている、うれしい限りです。今後も本を読むだけの場所としてだけではなく、地域と子供たちの関わりができる場所として図書館の新たな利用価値に学校や地域住民と討論を続けていきたいと思います。



枚二小学校
本貸出冊数
No.1
2年連続No.1に

若い世代が地域活動へ 今後の活躍に大きな期待

7月19日(土)に枚方中学校で「ふれあい祭り」が開催されました。吹奏楽部、志願者によるパフォーマンスが披露されました。今回新たな試みで、学生の発案による「学校を楽しい場所にしたい」という思いから、校舎を使った謎解きクイズラリーも行われました。昨年度とは異なる趣向で、クイズラリーには長蛇の列ができるほど大盛況でした。参加者は指示書を手に校舎内のヒントを探しながら謎を解き、頭を悩ませつつも楽しんでいました。最後には恒例の花火大会で締めくくられ、夏の思い出となる一日となりました。

11月15日(土)ラポールひらかたで「枚方市地域防災推進員研修会」に当協議会広報部に所属する大学生が参加しました。消火器の取り扱いや重量物の持ち上げ方など、実技を通して災害時に役立つ基礎的な知識と技術を学びました。防災においては「自助・共助・公助」の3つの考え方が重要ですが、なかでも災害が発生した直後は、公的支援が行き届くまでの間、自助と共助の力が大きな役割を果たします。今回の研修を通じて地域の一員として「自分たちのまちを自分たちで守る」という意識を改めて認識することができました。

編集後記

礎51号

前任者から広報担当を引き継ぎこれまで知らなかった「枚二校区の良さ」を新たな視点で皆さまに伝えていきたいと思ひます。

